



1-1 建物概要

建物名称	個人住宅	
竣工年月	2021年1月	竣工
建設地	横浜市瀬谷区二ツ橋町	
用途地域	第一種住居地域	確定
省エネルギー地域区分	6地域	
構造・構法	木造	確定
階数	2	
敷地面積	106 m ²	確定
建築面積	51 m ²	確定
延床面積	95 m ²	確定
世帯人数	3	確定

仕様等の確定状況	建物の仕様 持ち込み家電等 外構の仕様	確定 仮 仮
＜備考＞		
評価の実施日	2020年8月23日	
作成者	中西 一真	
確認日	2020年8月24日	
確認者	高澤 恭子	

1-2 外観



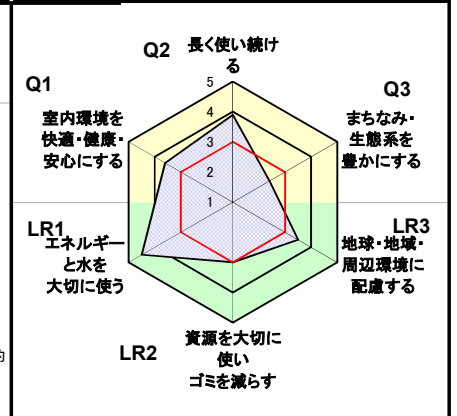
2-1 戸建の環境効率(BEEランク&チャート)



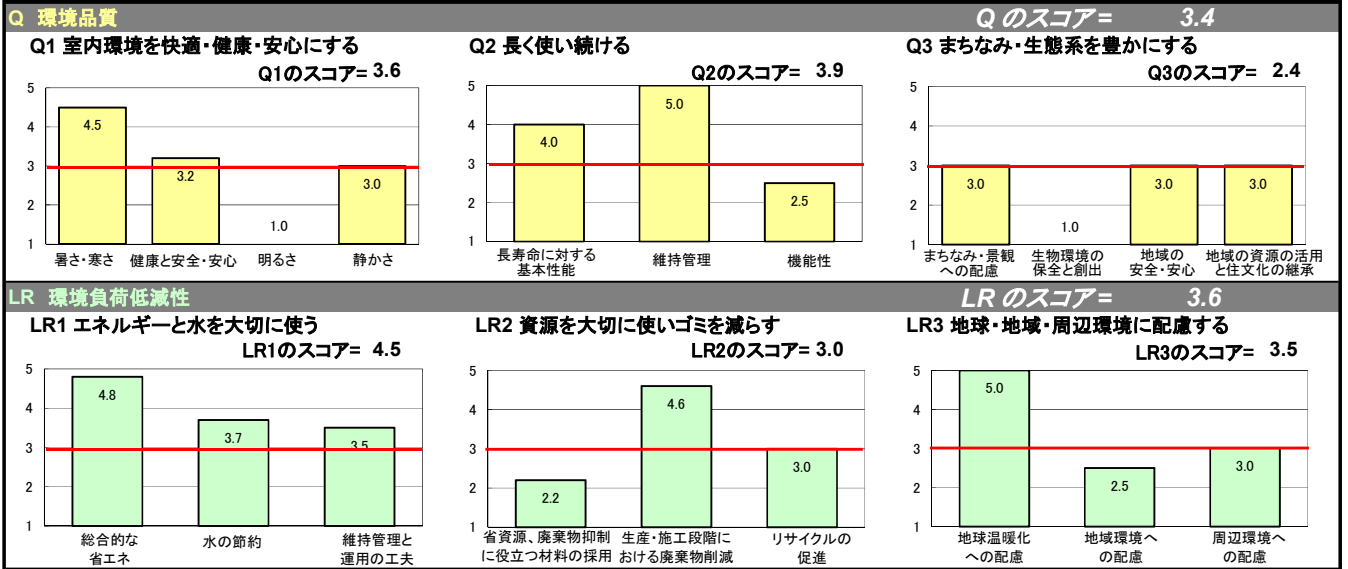
2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)



2-3 大項目の評価(レーダーチャート)



2-4 中項目の評価(バーチャート)



3 設計上の配慮事項

<p>総合</p> <ul style="list-style-type: none"> ●オープン外構で門扉、フェンスの設置はなく、解放感のあるアプローチで周辺の街並みや景観に配慮 ●ホール～LDKの共有スペースは厚みのあるオーク材の無垢フロアで、肌触りよく素材感を楽しめ、居心地に配慮した設計とした 	<p>その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ●今回の計画では外壁をホワイト系の吹付け材とし、深い庇の裏を明るい木調材で爽やかな雰囲気とまとめ、オープン外構で解放感を演出。 ●横浜市ZEH普及促進補助事業
<p>Q1 室内環境を快適・健康・安心にする</p> <ul style="list-style-type: none"> ●省エネ基準3地域断熱仕様とアルミ樹脂複合サッシにLOW-E複層ガラス(アルゴンガス入り)採用で冷暖房負荷の軽減 ●深い庇で日射調整への配慮 ●居間と主寝室において二方向に開口部を設け通風を確保 	<p>Q2 長く使い続ける</p> <ul style="list-style-type: none"> ●地盤調査に基づく安全な基礎設計 ●オリジナルのピックアップレーム工法による高い耐震性と高耐久化 ●適切な床下通気と外壁通気による高い耐久性 ●給水、給湯、排水ヘッダーの採用により容易な維持管理
<p>LR1 エネルギーと水を大切に使う</p> <ul style="list-style-type: none"> ●屋根に太陽光発電を搭載 ●照明はすべて省エネ、高寿命のLEDランプタイプを採用 ●食器洗浄機設置 ●節水便器を採用 	<p>LR2 資源を大切に使いゴミを減らす</p> <ul style="list-style-type: none"> ●構造材、羽柄材にPC材を採用し現場での廃材を大きく低減 ●住友林業株式会社、ISO14001認証取得
<p>LR3 地球・地域・周辺環境に配慮する</p> <ul style="list-style-type: none"> ●造成を行わず従前の地形をいかし、建物配置も道路から離れを取っている。 	

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)

■Q: Quality (環境品質), L: Load (環境負荷), LR: Load Reduction (環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (環境効率)

■CASBEE全体の表記ルールに従えば、CASBEE-戸建(新築)の場合、BEE_Q、Q₁、LR₁などとするべきであるが、本シート上では簡略化のためHを省略した

■「ライフサイクルCO₂」とは住宅の部材生産・建設から居住、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量であり、ここでは住宅の寿命年数と延床面積で除した値を示す

■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q₁、Q₂、LR₁中の住宅の寿命、省エネルギーなどの項目の評価結果から自動的に算出される(「戸建標準計算」の場合)

■ライフサイクルCO₂の算定条件等については、マニュアルおよび「CO₂計算」シートを参照されたい



4 横浜市重点項目についての環境配慮概要

各項目について配慮した内容を、該当する番号(①~)を示し記述してください。

建物名称 **個人住宅**

建築物の省エネルギー性能 (E) Energy Saving 重点項目への取組(5点満点) 【省エネルギー性能】 **5**

■省エネルギー性能 (国土交通省告示に基づく表示)

この建物の設計一次エネルギー消費量 57 %削減



一次エネルギー消費量基準	適合
外皮基準	適合

受付日 2020年8月25日

■エネルギーを大切に使う (①建物の工夫 ②設備の性能 ③維持管理と運用)

- ①太陽光発電の採用
- ③エネルギー管理でHEMS採用

健康・快適な職住環境 (W) Smart Wellness Community 重点項目への取組(5点満点) 【健康・安心】 **5**

■室内環境対策 (④暑さ・寒さ)

◆断熱等性能等級 等級4を超える (相当)

④断熱等級4を超える水準

■室内環境を快適・健康・安心にする (⑤健康と安全・安心)

⑤ホルムアルデヒド対策において等級3を満たしている

⑤適切な計画換気システムが設置されている

■その他の対策 (⑥自然材料・通風の工夫など)

◆工夫の有無 **あり**

⑥1階ホール、2階LDKにオーク無垢フロアを採用。居間と主寝室において二方向に開口部がある

防災への配慮 (R) Resilience 重点項目への取組(5点満点) 【防 災】 **4**

■災害に備える (⑦災害に備える ⑧長寿命に対する基本性能 ⑨地域の安全・安心)

⑦耐震等級(構造躯体の倒壊等防止)における等級3を満たしている

⑧劣化対策等級3を満たしている。屋根、外壁材に30年の耐用年数の仕上げ材を採用

地域・まちづくりへの貢献 (T) Township & Townscape 重点項目への取組(5点満点) 【地域・まちづくり】 **2**

■まちなみ・生態系を豊かにする (⑩まちなみ・景観への配慮 ⑪生物環境の創出)

太陽光発電などの導入



太陽光利用

エネルギーマネジメントシステム導入

HEMS

環境配慮技術の導入

(太陽光・熱利用、エネルギーマネジメントシステム以外)



CASBEE横浜[戸建] (2017年版)
個人住宅

バージョン : CASBEE横浜[戸建]2017年版v.1.0

スコアシート				
配慮項目	重点項目	評価点	重み係数	全体
QH すまいの環境品質		-	-	3.4
QH1 室内環境を快適・健康・安心にする		-	0.45	3.6
1 暑さ・寒さ		4.5	0.50	4.5
1.1 基本性能		4.6	0.50	-
1 断熱等性能の確保	健康・安心	5.0	0.80	-
2 日射の調整機能	健康・安心	3.0	0.20	-
1.2 夏の暑さを防ぐ		4.0	0.25	-
1 風を取り込み、熱気を逃がす		3.0	0.50	-
2 適切な冷房計画		5.0	0.50	-
1.3 冬の寒さを防ぐ		5.0	0.25	-
1 適切な暖房計画		5.0	1.00	-
2 健康と安全・安心		3.2	0.30	3.2
2.1 化学汚染物質の対策	健康・安心	5.0	0.25	-
2.2 適切な換気計画	健康・安心	3.0	0.25	-
2.3 犯罪に備える	健康・安心	1.0	0.25	-
2.4 災害に備える	防災	4.0	0.25	-
3 明るさ		1.0	0.10	1.0
3.1 昼光の利用		1.0	1.00	-
4 静かさ		3.0	0.10	3.0
QH2 長く使い続ける		-	0.30	3.9
1 長寿命に対する基本性能		4.0	0.50	4.0
1.1 躯体	防災	5.0	0.30	-
1.2 外壁材		3.0	0.10	-
1.3 屋根材、陸屋根		3.0	0.10	-
1.4 自然災害に耐える	防災	5.0	0.30	-
1.5 火災に備える		2.4	0.20	-
1 火災に耐える構造		1.0	0.65	-
2 火災の早期感知		5.0	0.35	-
2 維持管理		5.0	0.25	5.0
2.1 維持管理のしやすさ		5.0	0.65	-
2.2 維持管理の計画・体制		5.0	0.35	-
3 機能性		2.5	0.25	2.5
3.1 広さと間取り		3.0	0.50	-
3.2 バリアフリー対応		2.0	0.50	-
QH3 まちなみ・生態系を豊かにする		-	0.25	2.4
1 まちなみ・景観への配慮	地域・まちづくり	3.0	0.30	3.0
10 まちなみ・景観への配慮		1.0	0.30	1.0
2 生物環境の創出	地域・まちづくり	1.0	0.65	-
11 生物環境の創出		1.0	0.35	-
3 地域の安全・安心	防災	3.0	0.20	3.0
9 地域の安全・安心		3.0	0.20	3.0
4 地域の資源の活用と住文化の継承		3.0	0.20	3.0
LRH すまいの環境負荷低減性		-	-	3.6
LRH1 エネルギーと水を大切に使う		-	0.35	4.5
1 総合的な省エネ		4.8	0.75	4.8
1.1 躯体と設備による省エネ	省エネルギー性能	5.0	0.90	-
1.2 家電・厨房機器による省エネ	省エネルギー性能	3.0	0.10	-
2 水の節約		3.7	0.15	3.7
2.1 節水型設備		4.0	0.75	-
2.2 雨水の利用		3.0	0.25	-
3 維持管理と運用の工夫		3.5	0.10	3.5
3.1 住まい方の提示	省エネルギー性能	3.0	0.50	-
3.2 エネルギーの管理と制御	省エネルギー性能	4.0	0.50	-
LRH2 資源を大切に使いゴミを減らす		-	0.35	3.0
1 省資源、廃棄物抑制に役立つ材料の採用		2.2	0.60	2.2
1.1 構造躯体		3.0	0.30	-
1 木質系住宅		3.0	1.00	-
2 鉄骨系住宅		3.0	-	-
3 コンクリート系住宅		3.0	-	-
1.2 地盤補強材・地業・基礎		3.0	0.20	-
1.3 外装材		1.0	0.20	-
1.4 内装材		1.0	0.20	-
1.5 外構材		3.0	0.10	-
2 生産・施工段階における廃棄物削減		4.6	0.30	4.6
2.1 生産段階(構造躯体用部材)		5.0	0.33	-
2.2 生産段階(構造躯体用以外の部材)		4.0	0.33	-
2.3 施工段階		5.0	0.33	-
3 リサイクルの促進		3.0	0.10	3.0
3.1 使用材料の情報提供		3.0	1.00	-
LRH3 地球・地域・周辺環境に配慮する		-	0.30	3.5
1 地球温暖化への配慮		5.0	0.33	5.0
2 地域環境への配慮		2.5	0.33	2.5
2.1 地域インフラの負荷抑制		2.0	0.50	-
2.2 既存の自然環境の保全		3.0	0.50	-
3 周辺環境への配慮		3.0	0.33	3.0
3.1 騒音・振動・排気・排熱の低減		3.0	0.50	-
3.2 周辺温熱環境の改善		3.0	0.50	-